



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社キャピタル・アセット・プランニング
代表者名 代表取締役社長 北山 雅一
(コード番号：3965 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 財務経理部 部長 青木 浩一
(TEL. 06-4796-5666)

個別業績実績値と前期実績値との差異について

当社は、2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）の個別業績の前期実績値と当期実績値に下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 当期実績と前期値との差異について

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	5,910	72	70	46	8円09銭
当期実績 (B)	5,977	△336	△331	△297	△52円02銭
増減額 (B-A)	67	△409	△402	△343	—
増減率 (%)	1.1	—	—	—	—

(差異の理由)

新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、対面販売を主たる販売チャネルとする生命保険会社プロジェクトの開発延期、凍結が継続しておりましたが、第4四半期から生保複数社における新商品投入プロジェクト、銀行・証券会社向けAPIを活用した相続・ゴールベースプランプロジェクト等が開始されたこともあり、売上高は前期実績を67百万円上回り、5,977百万円となりました。

一方、金融システム開発業界における競争激化のなか、フィンテック・DX等を推進するため、優秀な開発人材の確保、雇用の継続を最優先の課題としており、この方針に基づき下半期においても人的資本投資に継続的に注力してまいりました。システム開発人材への労務費、採用費、教育研究費を含む人的資本投資は前期比232百万円増加し、ソフトウェア資産に係る減価償却費は128百万円増加しました。その結果、営業利益は前期比409百万円減少し、336百万円の営業損失、自社利用ソフトウェアの減損、市場販売目的のソフトウェアの減損127百万円の特別損失を計上し、一方役員退職金の返上による31百万円の特別利益を計上した結果、当期純損失は297百万円となりました。

以 上